

## テュートリアル課題 尿がもれる

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/29040">http://hdl.handle.net/10470/29040</a>

2007年度 Block. 6 後期

課題 No.5

「尿がもれる」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

小内 友紀子（泌尿器科学）

シート1

大崎 茜さん（女性、18歳）は大学1年生です。学園祭の準備で重いものを持ち上げた時に「尿がもれる」ことに気がつきました。友達の家でテレビを見ている時に「急にトイレに行きたくなり、我慢ができなく」なったこともあります。一人で下宿しており、誰にも相談できず悩んでいます。

抽出が期待される事項

「尿がもれる」とはどんな状態か→A-1

「急にトイレに行きたくなり、我慢できない」→A-1、2

誰にも相談できず、悩んでいる→C-2

2007-B6-T2-5

課題名：尿がもれる

シート 2

生理用品をあてていましたが、尿もれはだんだんひどくなり、下着やズボンまでぬれるようになりました。最近では、軽く小走りになっただけでもパッドがぐっしょりになるほどもれるため大崎さんは大学の同級生に相談し、近所の泌尿器科を受診しました。

抽出が期待される事項

生理用品をあてる→A-2

尿もれがだんだんひどくなる→A-2、B-1

小走りでひどくもれる→A-2

シート 3

泌尿器科では問診票を記入し、尿検査が行われました。その後、いくつかの検査を行った後、大崎さんはもう少し詳しい検査が必要であると言われ、大学病院を紹介されました。

提示資料

- 1) 問診票 (資料 1)
- 2) 尿検査 (資料 2)
- 3) パッドテスト (資料 3)
- 4) 尿流量測定 (資料 4)

抽出が期待される事項

- 尿失禁に対しておこなわれる検査→A-2, B-1
- 詳しい検査を必要とする尿失禁→B-2

シート 4

大学病院では膀胱機能検査やレントゲン検査や MRI 検査を行い、脊髄係留症候群による神経因性膀胱と診断されました。担当の先生から病気のことについて詳しく説明を受け、治療について納得することができました。

提示資料

- 1) 仙骨エックス線写真 (資料 5)
- 2) 腰仙髄 MRI (資料 6)
- 3) 膀胱内圧測定検査 (資料 7)
- 4) 膀胱造影検査 (資料 8)
- 5) 説明用紙 (資料 9)

抽出が期待される事項

レントゲンでの二分脊椎の有無の確認

MRI で脊髄係留症候群の所見

膀胱内圧測定検査

脊髄係留症候群

説明と治療

# このシートでロールプレイを行い、診断・治療について説明する

→ 詳細はテュータガイド参照

2007-B6-T2-5

課題名：尿がもれる

シート5

大崎さんは膀胱拡大術を受け間欠的自己導尿を行うことにより、日常的な尿もれはほぼなくなりました。しかし、これから自分が結婚や妊娠をするときには何か支障がないか、少し不安があります。

抽出が期待される事項

脊髄係留症候群の治療→B-3

膀胱拡大術→A-3, B-3

間欠的自己導尿→A-3, B-3

二分脊椎患者の妊娠・出産